



森林セラピー
通信
森のたより

平成29年度
森林セラピー事業は生まれ変わります

小田にある飯南町ふるさと森の森が森林セラピー基地に認定されたのは、2007年3月です。以来、町では森林セラピーの普及、観光・健康への活用など様々な面で取り組んできました。この3月で丸10年、11年目の新たな取り組みが始まります。町民の皆さんの健康づくりと町内企業の「健康経営」のために、産業振興課と地域包括ケア推進局から情報を発信していきます。



教育への活用



健康づくり・介護予防

森林×産業×健康＝まちづくり

●使命(ミッション)
森林セラピーのまち「飯南町」
森林セラピーで生命地域としてすべての面で健康になる、健康・観光教育づくりは森林セラピーで
●目指す姿(ビジョン)
町民の健康づくりと介護予防に役立ち、誇りとなるセラピー
●方針・視点(コンセプト)
体感実感 あなたが主役の森林セラピー

■お問合せ
産業振興課 電話76・2214
保健福祉課 電話72・1770



観光

短歌

頓原公民館短歌教室 三月詠草

花八手白く寂かに蔵の角一人の姉が来て泣きし場所 藤原 正
会社より体調を問う息子の電話今日もかかって受話器をおきぬ 渡辺ヤエコ
パソコンと睨めっこして文書打ち頭も白く中はまっ白 安部 徳則
娘の下ろす雪庇となりし屋根の雪母娘の声を除雪車は消す 千葉トミネ
外灯の照らすそばのみ舞うが見ゆ夜明けの山里雪降り積もる 熊谷 允子
名古屋より大雪見舞と友からのきしめんほかほか温もる夕べ 片岡 千鳥
十分な学資やれずに努力せし息子が駅伝の先導をゆく 景山サチ子
真夜中の救急車の音小さくわが家もすっぽり雪に埋もる 三上 朋子
湧きつづけ姿変えゆく雲の峰若き力をしかと見せつつ 岡田 繁富
賑やかに雪捨てる我ら和ませて登校児童のあいさつひびく 本間 啓美
雪深く田畑またまた静かなり鶯の鳴く日をまち待ちて 景山 牧栄
夕暮れの天空のびる飛行機雲青さの中に明日の希望を 山本 正敏
茜さす夕の雪原ながめれば群青の空を明星のつき刺す 石川 隆



やすらぎに

3月届出分

お名前	親族	地区
戸田 登喜榮 様	修	町区
石飛 久雄 様	和博	町区
田中 潔 様	淳	寺沢
梅川 和人 様	和子	角井
澤 夏義 様	春恵	下赤色
戸田 毅義 様	易子	上区
朝日山ヨリ子 様	靖男	花栗
貝森 久則 様	好江	上赤島
吉田 俊江 様	正純	下赤島

今月の表紙

色とりどりの着物を着た、手づくりの「ひな人形」が所狭しと並ぶ玄関。赤名の町なかで、平成21年から続く「ひな人形展」。主催者の皆さんは、手作りの「藍染の工房」をして来場者を出迎えています。思い出話や農作業の話など、尽きない話で会場はにぎわっていました。



今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

ははとちち
どちらのりょうりも
せかいいち

かとう しま
来島小2年 加藤 紫摩 さん
いぐみ
家族名 加藤 郁海 さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。



神様の玄関!?
琴引山神話

■お問合せ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76・2864

昔おかし、日本の国に神様がたくさんおられたころのこと。旧暦の10月になると、全国の神様は出雲に集まるのが決まりだったそうなの。

出雲をめざし、天からやってきた神様たち。さて、「どこが出雲なのか分からない!」。すると、高く美しい山から澄んだ琴の音が響いてくる。神様たちは、「ここだここだ」と、そろそろ地上に降りてきた。そして、川を下って出雲大社に入られたそうなの。

琴を弾いていたのは大国主命(おおくにぬしのみこと)。そしてその山こそ、

ここ飯南の「琴引山」。凛と冷えた空気の中、そろそろ降りて来た神様たちが、わいわいがやが言いながら、神戸川を下って行ったかも…と想像すると、なんだかありがたく、山の景色も一味違って感じられませんか?



頓原中学校から望む「琴引山」